

ゆうやけの 灯を消すな！

緊急募金と署名にご協力ください

ゆうやけ子どもクラブ（東京都小平市）は、2021年度、法人内の3事業所合わせて1600万円の赤字となりました。さらに2022年度は、1300万円の赤字を予定しています。これは、国が2021年に実施した「報酬改定」などによるものです。このままでは活動が継続できません。ぜひ、緊急募金と署名にご協力をお願いいたします。



緊急募金 のお願い

1口1万円です。身の周りの人に呼びかけてくださると助かります。募金された皆様には、子どもが描いた絵のポストカードを進呈させていただきます。

募金の方法（3つあります）

●郵便振替口座

ゆうやけ支援プロジェクト実行委員会 00100-6-731091

●オンライン決済

こちらのサイトからクレジットカードにて寄付ができます。

<https://kifu.fm/yuyake-kodomo-club/>

寄付サイト QR コード



●直接、現金で

現金の場合は、1万円未満や、端数のある金額の募金も受け付けていただきます。

来所される際には、必ず事前にご連絡ください。

署名のお願い

小平市内の放課後等デイサービス9事業所で、市議会に請願しています。運営を継続できるよう、市に補助金などを求めています。

署名の目標は1万筆です。ぜひご協力をお願いします。

連絡先

特定非営利活動法人あかね会

ゆうやけ子どもクラブ・ゆうやけ第2子どもクラブ・ゆうやけ第3子どもクラブ

〒187-0032 東京都小平市小川町1-983

TEL/FAX 042(344)2448

ホームページ <https://www.yuyake-kodomo.club/>

ホームページ QR コード



Q なぜ赤字になったの？

3年に一度変えます

A、国が2021年度に実施した「報酬改定」の影響などがあります。

●「報酬改定」の影響

国は3年ごとに報酬を改定し、そのたびに事業所は大きく影響を受けます。2021年度に実施された報酬改定が、今回の赤字の主な原因です。

○基本報酬の引き下げ

○加配加算（指導員を多く配置したらつく加算）が、2人分→1人分にカット

その代わりに、「専門的支援加算」というものができました。これは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など、特定の資格を持つ職員がいないと取得できません。これでは、通常の見直しを減らして専門職を置かざるをえず、現場の実態に見合いません。

●20人定員の「報酬単価」の問題

ゆうやけは、3つの事業所のうち2つが20人定員です。20人定員の報酬単価は、10人定員よりも低く抑えられているため、赤字が膨らむ原因になっています。



保護者の声

愛情が循環し、伝わる

人間らしい生活を送れる

私の子どもは、知的障害のある、小学部3年生の女の子です。ゆうやけに入りたいために、小平に引っ越してきました。

職員さんは、娘が「おっ！」と言えば、（このおもちゃを取ってほしいんだな）とわかってくれます。これは娘にとって、どんなに高度な療育よりも必要なことです。ゆうやけに入って、娘が家族以外の、ほかの人たちのあいだでも過ごせることがわかりました。

ゆうやけでは、娘を1対1で見てもらって、人間らしい生活を送れています。家族以外の方が、自分の子どもを肯定してくれると、私自身も、そういうふうになれるようになります。

そうした、私の余裕ある態度が、下の子にも伝わるんだと思います。私が知らないうちに、下の子が、お姉ちゃんのオムツを履かせてくれていたことがありました。愛情が循環して、伝わっていくんだと思います。ゆうやけがなくなると、家族も閉鎖的になってしまいます。

職員にも気持ちのゆとりを

何か特別なことをしたせいで、事業所の収支がマイナスになっているわけではありません。職員さんを削ったり、給料を減らしたりするならば、職員さんも気持ちにゆとりがなくなってしまうはずですよ。

放課後デイ事業所に入りたくても入れない家族は、まだたくさんいます。ほかの事業所の保護者も、入会を待っている保護者も、私と同じ気持ちだと思います。

